



EP.

2

# 日本山ペンギンジャーズ

与国 秀真

YOKUNI Hotsuma

# 日本はかつて、 正義のために 戦った。



黄色い肌の日本人が  
欧米の植民地支配に  
真っ向からケンカを売り、  
肌の色で人間の優劣は  
決められないことを  
証明した。



有色人種が  
動物のように蔑まれ、  
植民地支配によって  
アジア・アフリカが  
奴隷のように  
扱われていた時代、



日本は軍事的には  
敗れはしたが、戦後、  
世界は植民地支配から  
脱却せざるを得なくなり、  
アジア・アフリカの  
「奴隷解放」を果たしたのだ。

## GHQとは？

第二次世界大戦後の日本を占領・統治した、アメリカ、イギリス、ソ連、中華民国などの国家を中心とした連合機関。連合軍最高司令官総司令部。GHQの最高司令官はアメリカのマッカーサー元帥が務め、実質的にはアメリカの強い影響下で政策が実行された。



先の大戦で日本が敗れると、日本を占領したGHQ※は、日本軍を武装解除することに加えて、

永久に日本人が  
歯向ったり、  
立ち上がったたりする  
ことがないように、  
日本人の  
「精神的武装解除」  
も目指した。





血を血で洗うヤクザ映画ばかりがもてはやされて、



また戦後の日本では、天下国家のために戦う侍映画よりも、



不良漫画もかなり流行って、不思議と「暴力」ばかりが美化されてきた。



それらは結果的に、日本人全体の「精神的武装解除」と共に、一部の日本人の「精神的暴力発動」へと繋がってしまった。



これから  
詳しく述べていくが、

実は  
日本人の意識は、  
意図的に  
変えられたのである。



それを行ったのは、  
アメリカではなく、  
トランプ大統領が、  
「ディープ・ステート  
(陰の政府)」  
と呼んだ者たちである。

ディープ  
ステートを  
解体する



先の世界大戦では、  
敗戦国、戦勝国を問わず、  
八千万人も人間が  
亡くなったが、



しかしその背後で、  
莫大な利益を  
得ている者たちも多い。



たとえば  
『ボーイング社』は、  
現在の  
日本の空の便でも  
お馴染みだが、



戦時中は  
原爆を落とし、  
東京大空襲を行い、  
国際法で禁じられている  
民間人の大虐殺を行って、  
莫大な利益を上げた。



つまりかつて、  
国際法を破って  
日本人を殺しまくった  
航空会社の飛行機に、  
日本人は乗らされているわけだ。

あるいは  
『ネスレ』という会社は、  
「キットカット」や  
「ネスカフェ」で、  
日本人にもお馴染みだが、



この会社は先の大戦中、  
敵味方双方の兵士に  
コーヒーを売ったことで、



やはり莫大な富を手に入れて、  
戦後は190カ国にビジネスを  
展開した。



人命にかかわる水を、「商品」と言い切るこの一言をとっても、人命を軽んじていることが十分に分かる。



『ネスレ』元CEO・名誉会長  
ピーター・ブラベック・レッツマツト

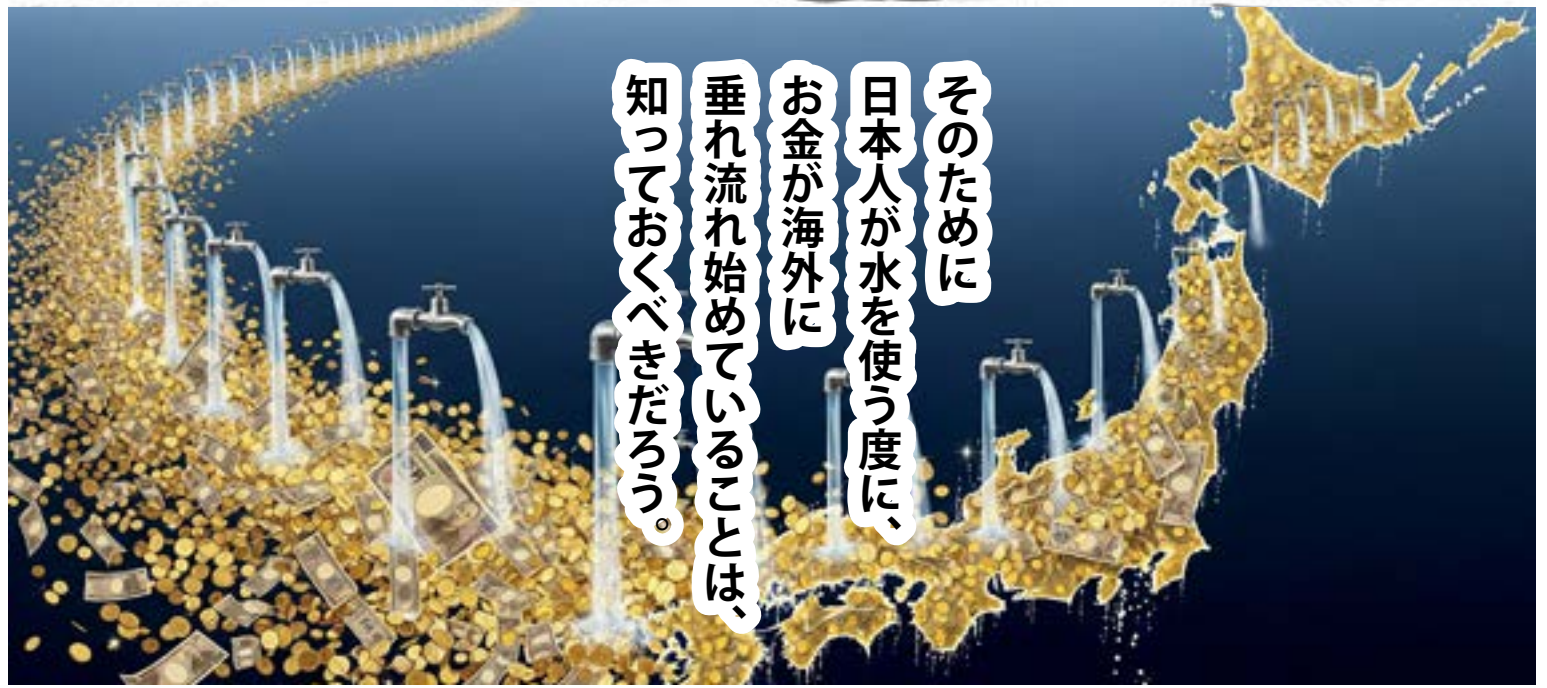
水は人権ではなく商品



ちなみに日本は、すでに水道民営化していて、

しかも外資企業が参入して、

外資化の道を進んでおり、



そのために日本人が水を使う度に、お金が海外に垂れ流れ始めていることは、知っておくべきだろう。



だが、先の大戦で最も強力な権力を手に入れたのは、これらとはまったく別の会社だ。



第二次世界大戦時中の1944年、連合国の代表が集まって、

「ブレトン・ウッズ体制」という戦後のマネーゲームのルールが勝手に決められた。



実はアメリカという国は、  
通貨の発行権を持たず、  
ドルを発行している  
この『FRB』は、  
100%民間銀行であり、



これによって、  
『FRB』が発行している  
ドルが、  
「世界の基軸通貨」  
に決定されて、  
最強通貨と決定されたのだ。



アメリカには  
子どものホームレスまでいる。



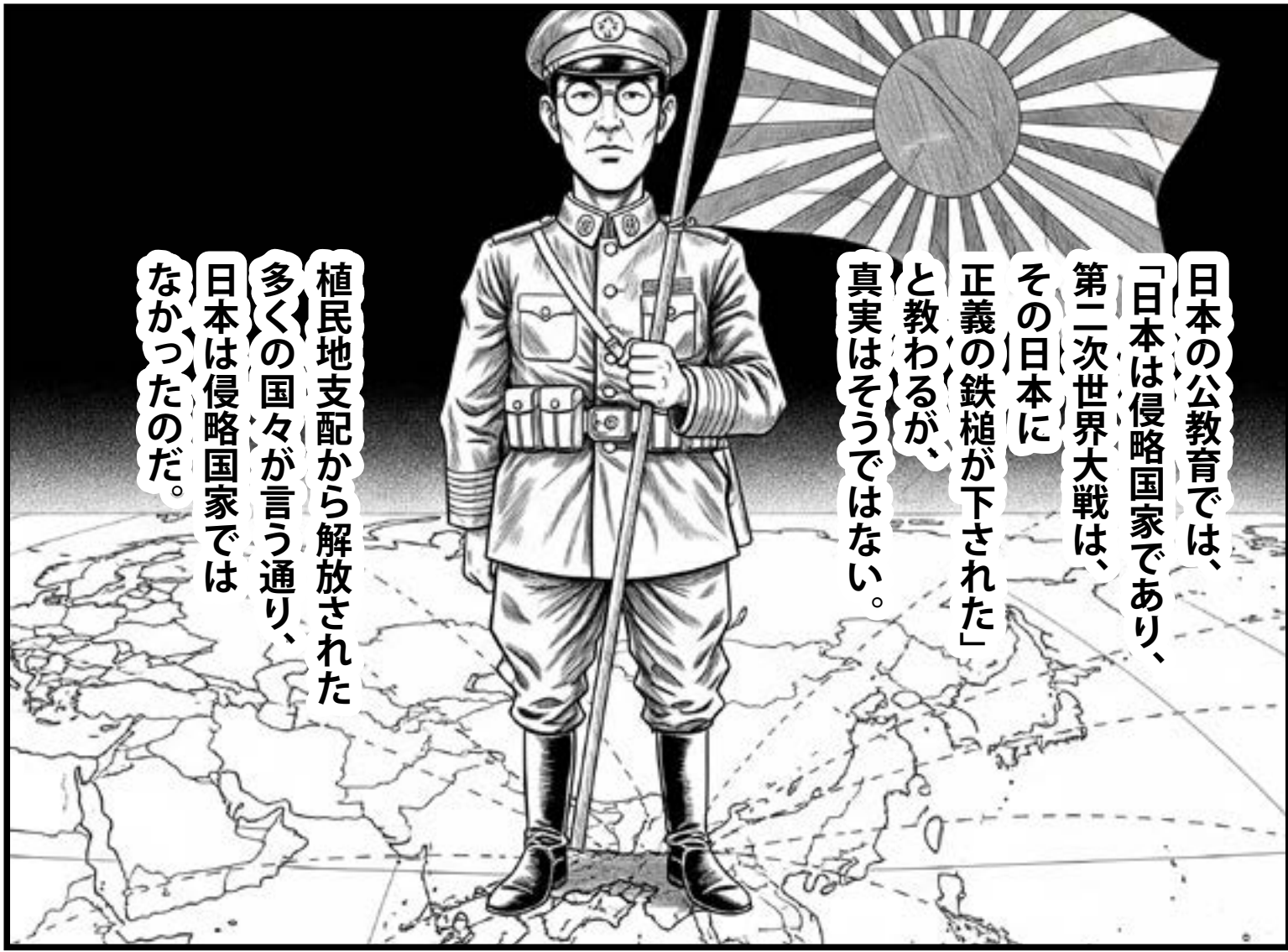
実はそれが  
超格差社会の温床になっており、



結論から先に言えば、  
確実に存在している

問題は、  
世界には  
人を殺してでも、  
戦争を行ってでも、  
金や権力を望む者が  
いるかどうかだが、





日本の公教育では、  
「日本は侵略国家であり、  
第二次世界大戦は、  
その日本に  
正義の鉄槌が下された」  
と教わるが、  
真実はそうではない。

植民地支配から解放された  
多くの国々が言う通り、  
日本は侵略国家では  
なかったのだ。



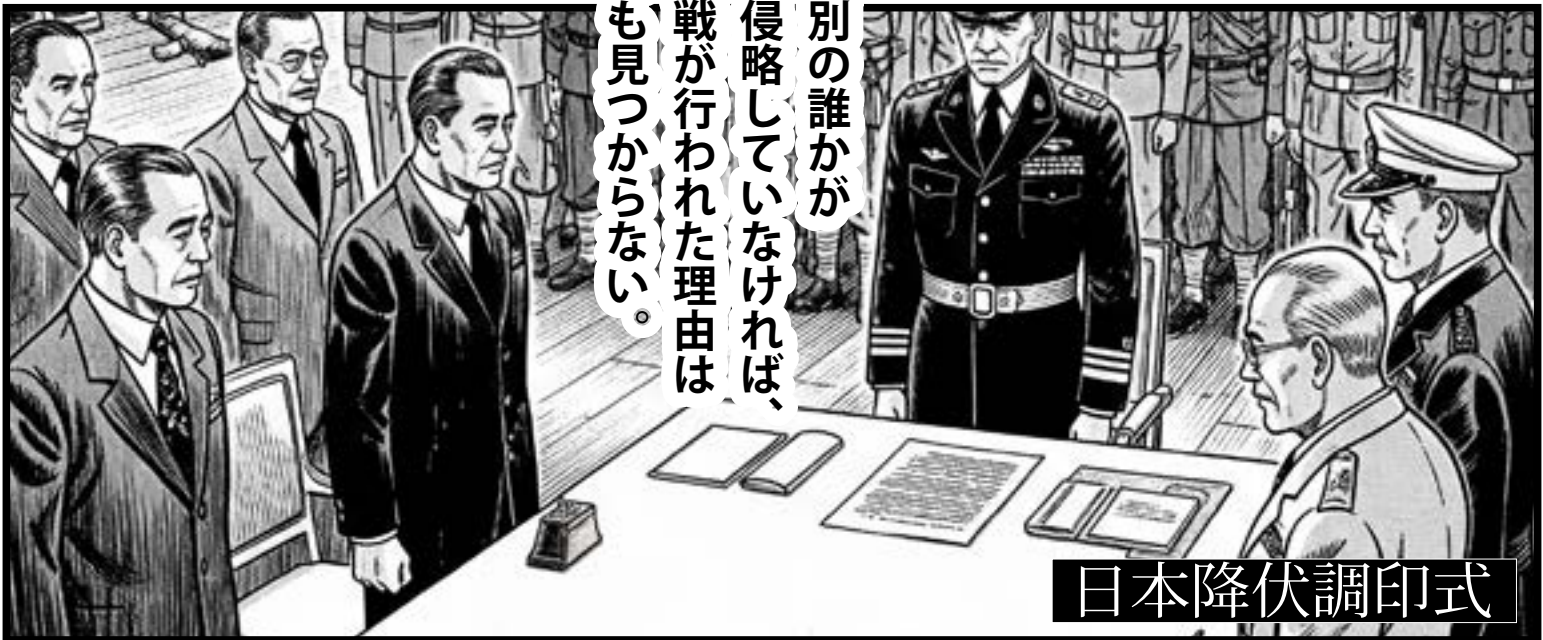
そういった意味で  
学校とは、  
真実と一緒に  
嘘も教える  
ところである。

しかし、  
日本が侵略国家では  
なかったのなら、  
なぜ第二次世界大戦は、  
起きてしまったのか？



広島への原爆投下

むしろ別の誰かが  
日本を侵略していなければ、  
先の大戦が行われた理由は、  
どこにも見つからない。



日本降伏調印式

信じがたいことは、  
重々承知の上であり、  
これから詳しく述べていくが、  
実のところ日本は  
「ABCD包囲網」  
というものを作られて、

- A = アメリカ (America)
- B = イギリス (British)
- C = 中国 (China)
- D = オランダ (Dutch)



そして日本は、  
先の大戦に敗れて以来、  
日本は金融的には植民地であり、  
だから日本も腐敗しているが、  
お金が海外に垂れ流れており、



「ハル・ノート」  
という  
無理難題を  
突き付けられて、  
戦争に引きずり  
込まれたのであり



そうした日本から  
お金を抜き取る存在に対して、  
トランプは、  
『ディープステート』  
と述べたのである。

アメリカは通貨の発行権を持たず、  
ドルを発行しているアメリカの  
中央銀行『FRB』は  
100%民間銀行である。



かつてヘンリー・フォードは、  
こう述べた。

アメリカの人々の  
銀行や金融への不理解は  
もうたくさんだ。  
もし金融の仕組みを  
理解したら、  
明日の朝までに  
革命が起こるだろう。

それは日本も同じで、  
日本人も金融の仕組みを  
理解したら、  
明日には革命が始まる。





日本のみならず、  
アメリカをも  
食い物にする者たちが  
GHQを使い、  
アメリカをも使って、  
日本軍の武装解除を  
すると共に、  
日本人の  
精神的武装解除をも  
行ったのである。



そして  
あの事件が起きた。



人生というものは、  
原則、  
自己責任であるし、



また私は、  
自分たちが愚かにも、  
「喧嘩」という暴力に、  
価値を見い出して  
しまったことを、  
別に責任転嫁する  
つもりはまったくない。



しかし  
「精神的武装解除」と、  
「精神的暴力発動」は、  
ある者たちによって、  
意図的に行われた。  
日本人はその真実を知って、  
日本人そのものが、  
ヤツラにリベンジ  
するべきなのだ。

※この画像は1ドル紙幣です

ヤツラによって、  
「武士道」は意図的に解体され、  
意図的に「暴力」ばかりが  
もてはやされてきたのだから。



多くの日本人が  
勘違いしていることがある。

それは、

「明治維新が起こり、

日本が近代化して、

「廃刀令」が出て、

鬘を結わなくなり、

洋服を着始めた頃から

武士道と侍精神が失われた

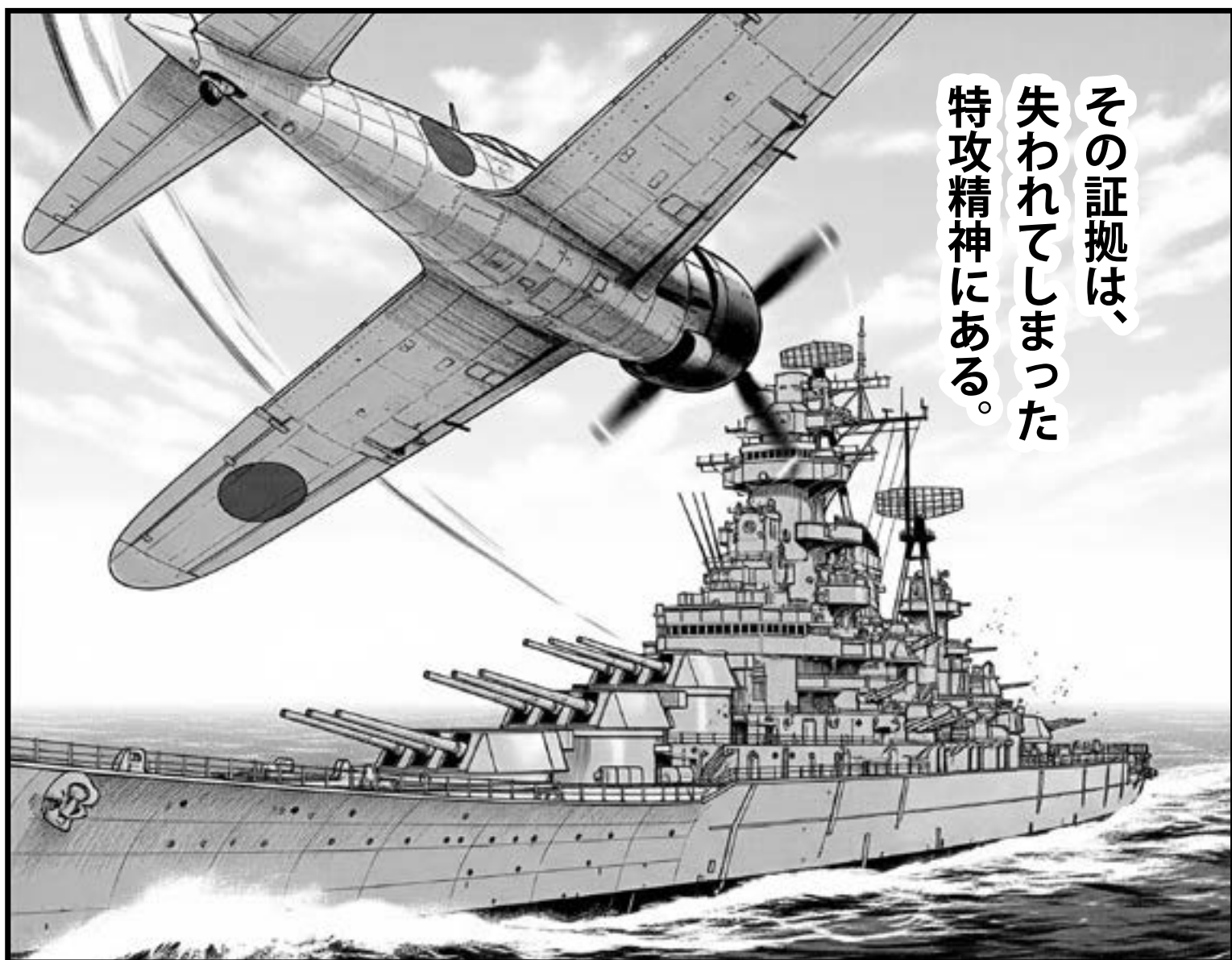
と考えていることだ。



※画像は「鹿鳴館」をイメージ



実際には  
明治維新以降、  
義務教育が  
始まったために、  
武士道教育を受ける  
日本人が  
増えたことで、  
侍そのものは  
増えたと言える。



その証拠は、  
失われてしまった  
特攻精神にある。

# 特攻精神とは何か？

たとえば鎌倉時代、  
楠木正成と足利尊氏  
とが対決すること  
になった。

歴史に有名な  
「湊川の戦い」である。



足利尊氏軍

3万5千の兵に対して、

楠木正成軍の兵は

たったの700騎、

その戦力差は実に

約50倍以上だった。

誰もが簡単に

勝敗がつくと思っ



しかし楠木正成は  
50倍の軍勢に対して、  
鬼気迫る勢いで  
数十倍の敵勢力に対して、  
16回にも及ぶ  
突撃を繰り返した。



最後は多勢に無勢、  
6時間の激闘の末、  
楠木正成は生き残った73名  
の部下と共に、  
死出の念仏を唱えて  
火を放ち、自刃した。  
享年42歳。



この時の有名な言葉、  
それが「七生報国」である。



これは  
「七度生まれ変わっても、  
自分は天家国家に報いる」  
という意味であり、  
楠木正成は「侍の鏡」として、  
日本人に尊敬されてきた。

「特攻攻撃なんて  
野蛮人のすることだ」  
そのような感想を  
抱く人もいるかもしれない。

- ソ連統治
- アメリカ統治
- イギリス統治
- 中国統治



しかし実は第二次世界大戦中、  
当時の米国、英国、ソ連、中国には  
「日本を分割統治」する案まであった。

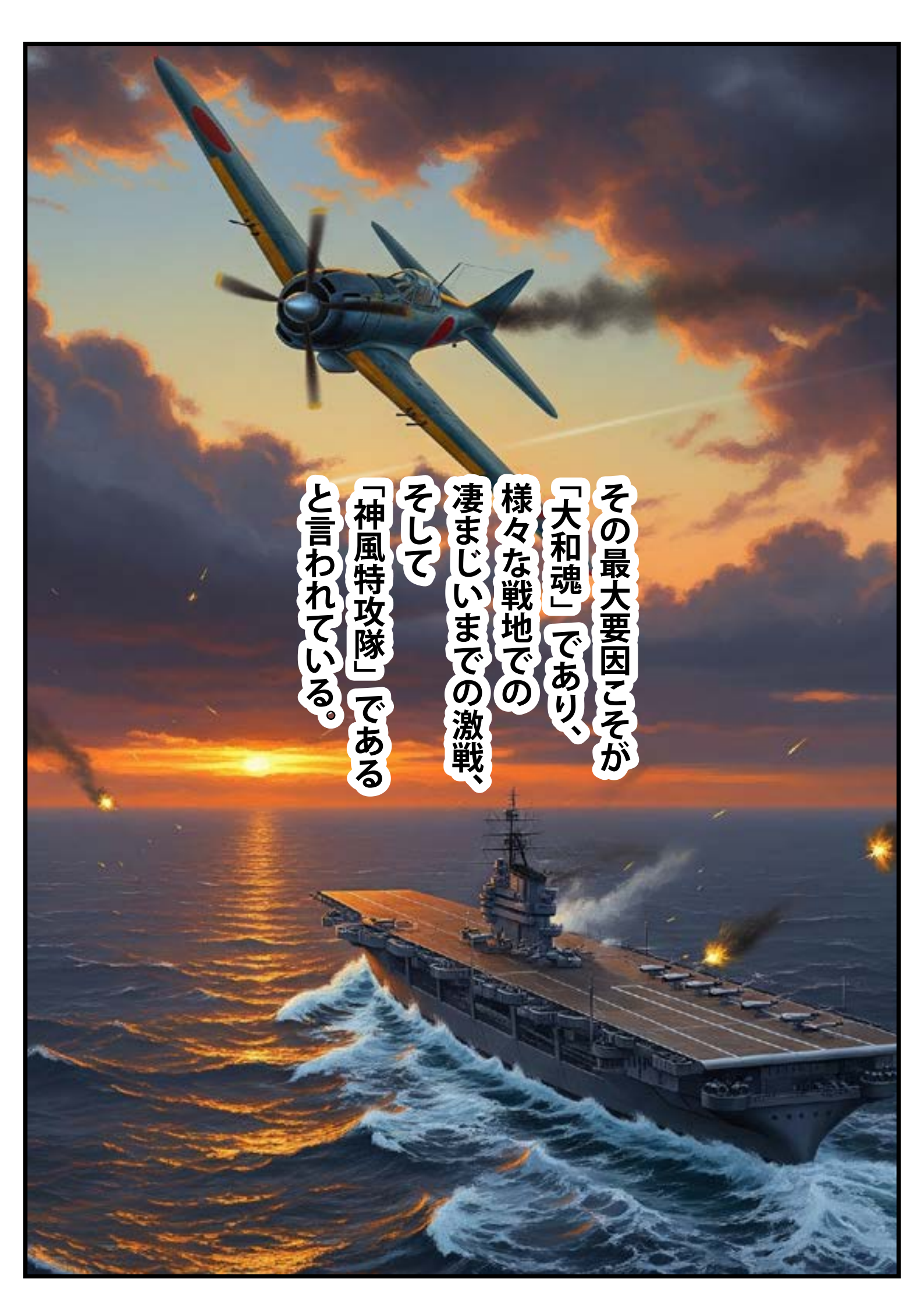
つまり日本人も、  
ハワイの人々のように、  
国を完全に失ってしまう  
可能性があったのである。



しかし、もしも  
日本を分割統治すれば、  
日本の侍たちによる  
反乱が起こり続けて、  
双方に甚大な  
被害が出続けて、

結果的には  
「分割統治は不可能である」  
と考えられて、  
「日本分割統治案」は  
無くなったと云われている。






その最大要因こそが  
「大和魂」であり、  
様々な戦地での  
凄まじいまでの激戦、  
そして  
「神風特攻隊」である  
と言われている。

実は日本人が  
知らないだけで、  
日本人の先祖は  
強過ぎたのだ。





アメリカ側は、  
いつまでも日本人が目覚めず、  
弱々しい日本人のまままで  
いてもらいたいのか、  
「日本の特攻攻撃は  
大したことがなかった」  
と宣伝するために、  
あえて特攻攻撃による米軍の被害を  
小さく発表しているようである。

たしかに  
無数の敵戦闘機との  
空中戦をかいくぐり、  
海上に浮かぶ  
敵戦艦からは、  
逆さまに降る  
雨のような砲弾を  
避けながらも、  
特攻攻撃を  
命中させることは  
至難の業である。



しかし  
死をも恐れぬ  
侍たちは、  
確かにそれを  
やってのけた。



飛び立った特攻隊は  
目標の敵艦が  
近くなると  
「ト・ツ・レ」の  
モールス信号を  
発信する。  
さらに敵の艦隊が  
見えると、  
「ト・ト・ト」の  
モールス信号を  
発信する。



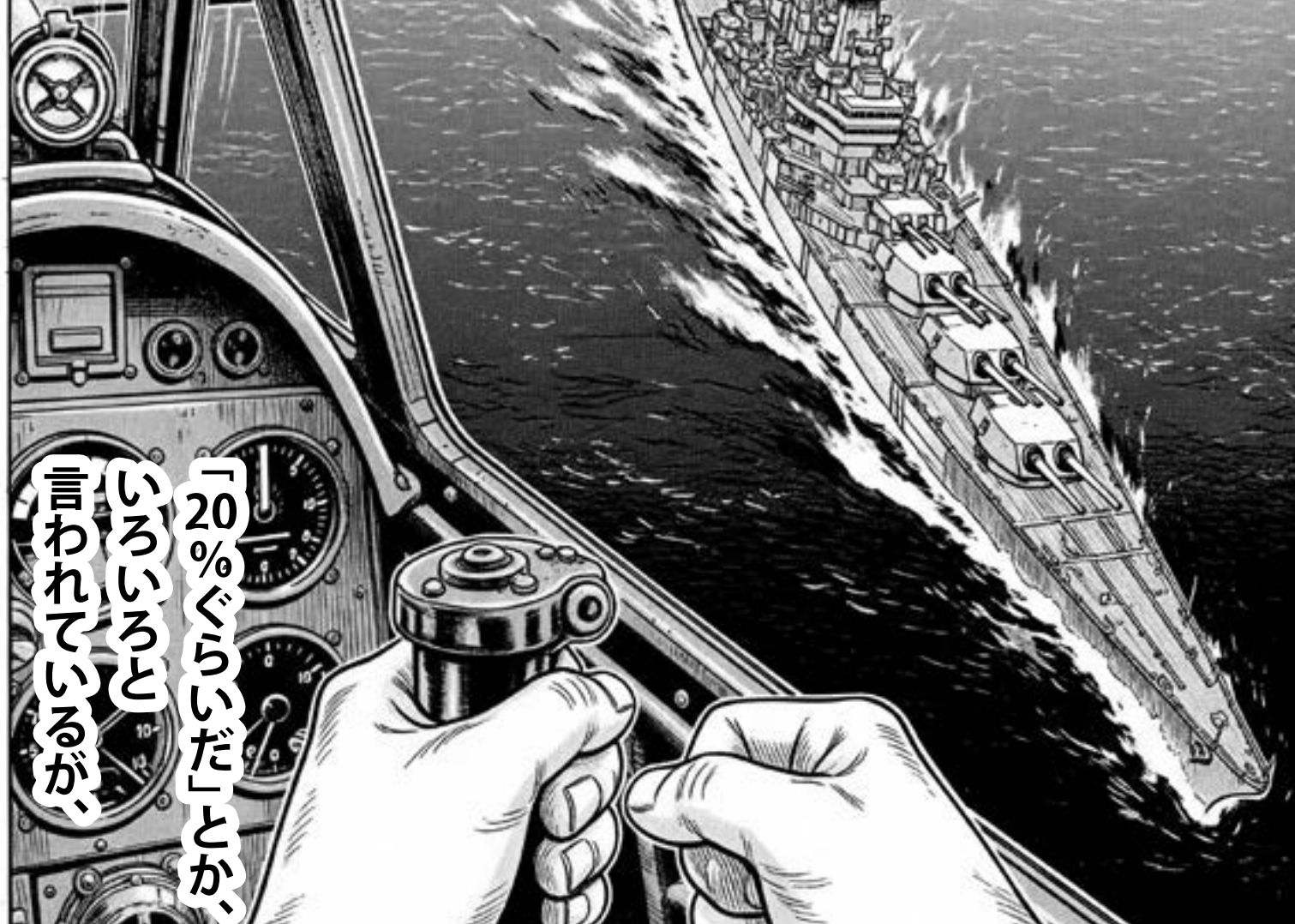
隊員たちは  
無線のキーを  
押したまま  
艦隊に突っ込む。  
モールス信号が  
途絶えた時、  
それは特攻隊員の  
戦死の瞬間を  
意味している。



特攻攻撃の命中率は、  
全体で見ると  
「10%以下だ」とか、



「20%ぐらいだ」とか、  
いろいろと  
言われているが、



米海軍機密文書

『Observed Suicide Attacks by Japanese Aircraft Against Allied Ships』

しかし途中の空中戦で  
墜とされたものも  
あるために、  
それを差し引くと、  
特攻での命中率は  
五十六%だった。

だから米軍は  
特攻隊によって、  
そうとうな  
被害を受けており、  
実は何百隻もの  
戦艦が撃沈、  
もしくは  
大破させられた。





特攻隊が命中し炎上する  
軽空母「ベローウッド」



特攻により爆沈した護衛空母「セント・ロー」



特攻により沈没する中型揚陸艦「LSM-20」



特攻機が命中して破壊された

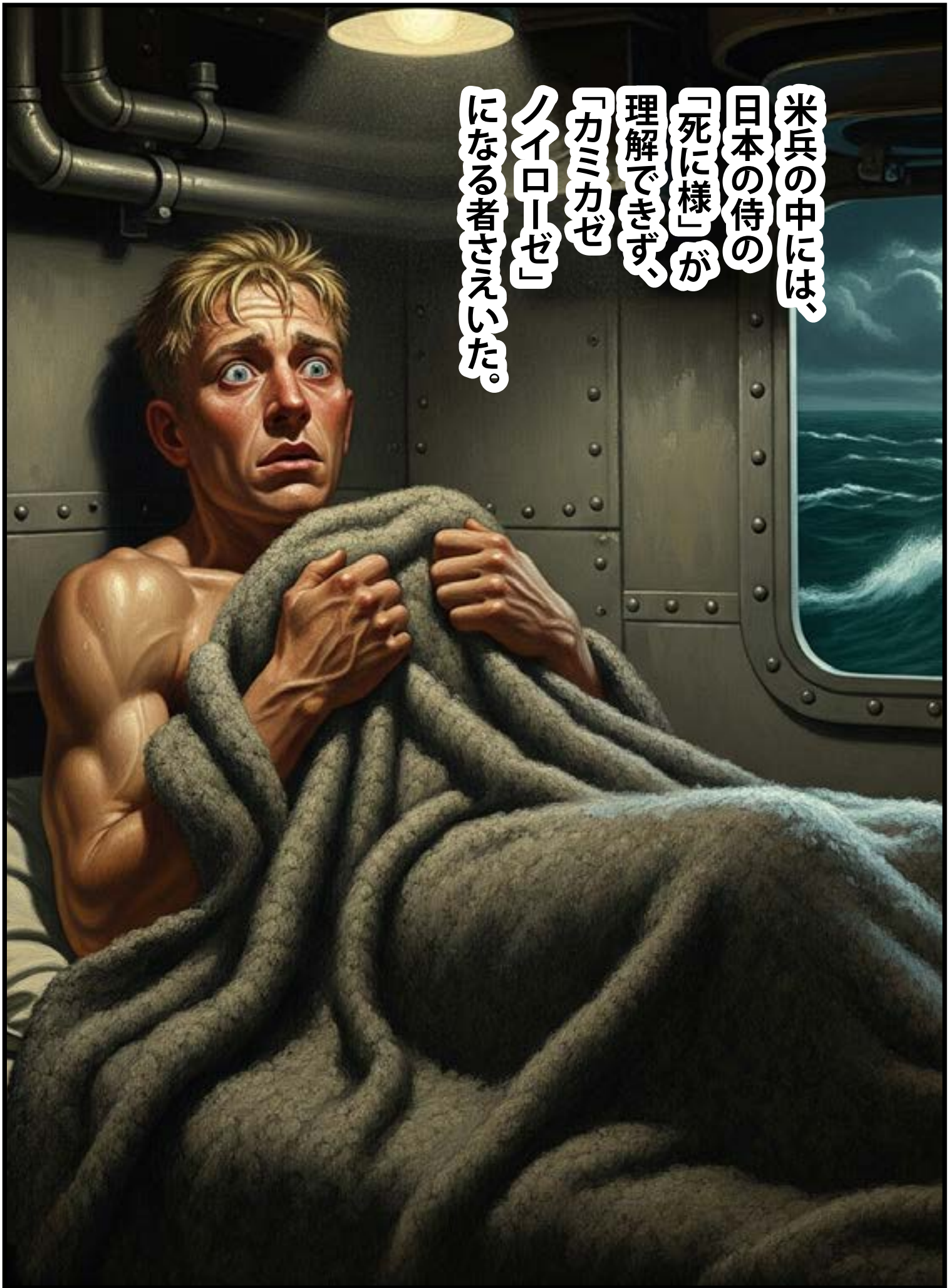


特攻により大火傷を負い  
治療を受ける米兵士



沖縄戦で2機の零戦の特攻により  
大火災を起こした正規空母「バンカーヒル」

米兵の中には、  
日本の侍の  
「死に様」が  
理解できず、  
「カミカゼ」  
「イローゼ」  
になる者さえいた。




米空母『ワस्प』の  
乗組員123名の  
健康検査を行ったところ、  
まともに戦闘を  
行える者はわずか30%で、  
他の米兵はすべて  
精神的な過労で休養が  
必要な状態だった。



確認されている特攻隊員は  
1万4千9名。  
たじかに  
1万4千9名分の人生が、  
日本のために、  
自からの手によって  
幕を閉じられたのである。





その中の一人に  
あなざわ  
穴澤利夫少尉  
という侍がいた。



子どもに夢を与える  
読書の力を  
信じていた彼は、




彼は幼い頃から  
読書好きだった。



いつか故郷に  
児童図書館を  
つくりたい！。


そんなことを  
夢見る  
ごく普通の  
青年だった。



穴澤さんは  
中央大学の学生時代、  
学費を稼ぐために

東京医科歯科大学の  
図書館でアルバイト  
をしていたのだが、

そこで運命の  
出逢いを果たす。



後の婚約者、  
孫田智恵子さん  
との出逢いだ。



司書の資格を  
取るため  
講習生として  
入学していた  
智恵子さんに、

穴澤さんから  
交際を  
申し込んだ。

智恵子さん。

僕と付き合って  
くれませんか。

男女の付き合いが  
「はしたない」と  
されていた当時、

お友達  
としてなら…

智恵子さんは  
穴澤さんの気持ちに  
応えることが  
できずにいた。

しかし、穴澤さんの  
智恵子さんを想う  
深い愛情に次第に  
心惹かれ—

自分は、  
折られても  
踏まれても屈せずに  
最後には  
必ず咲いてみせる  
彼のコスモスの花が  
妙に好きだ

僕の想いは  
変わらないよ。

二人は  
交際を始める。

交際といっても  
現代とは違い、  
「文通」が主な  
ものだった。

日々の出来事や  
万葉集の歌  
について、

君待つと  
吾が恋ひ居れば  
吾が屋戸の  
簾うごかし

秋の風吹く

ぬかたのおおきみ

額田王

情緒的な歌も  
お好きなのね。

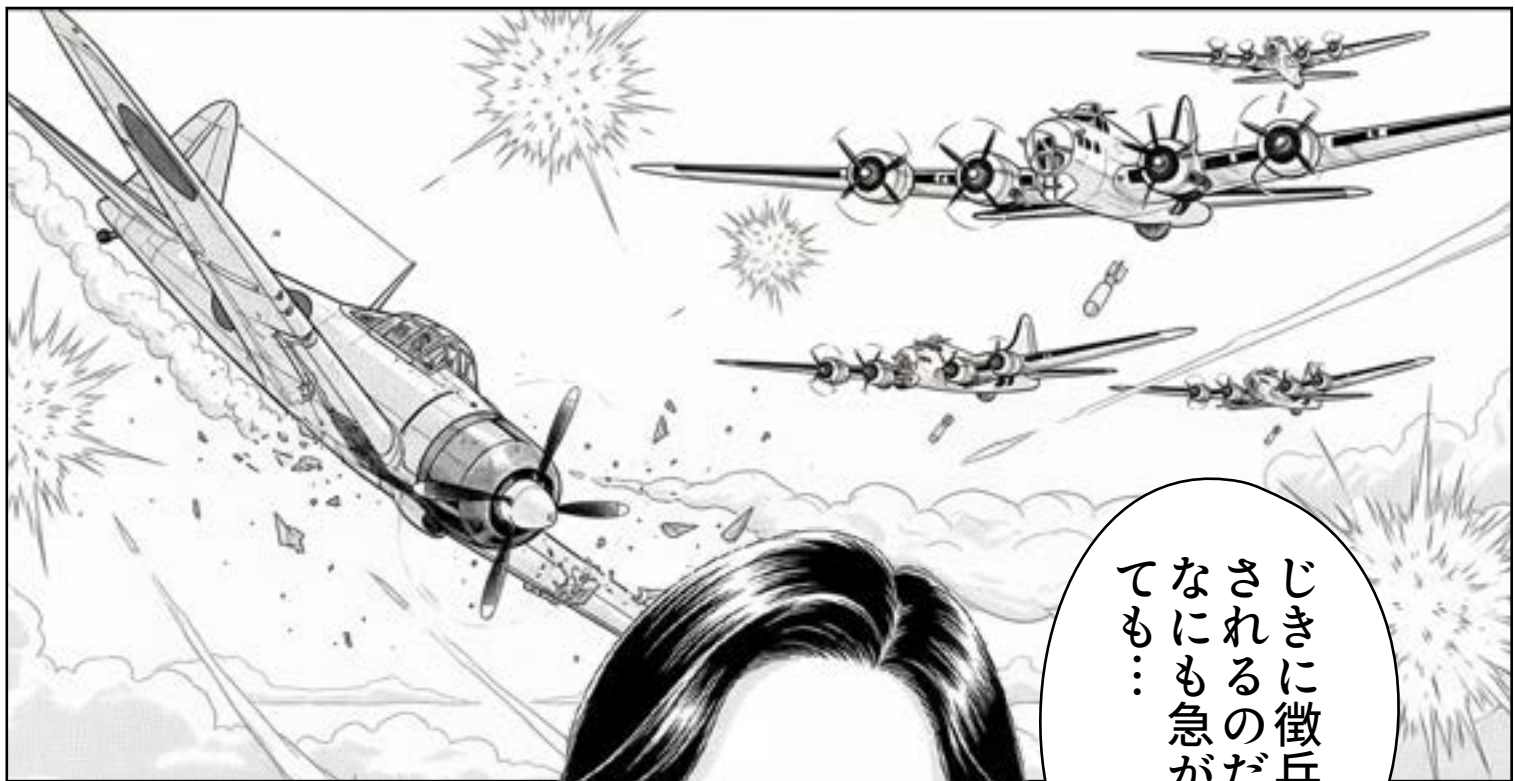
便箋に綴られた  
言葉を通して  
二人は交際を  
続けていた。



すでに戦争が  
始まっていた  
ある日――

僕は  
航空兵に  
志願する。

えっ



じきに徴兵  
されるのだから、  
なにも急がなく  
ても…

航空兵は、  
どの軍隊よりも  
死が身近…。  
いつ戦死しても  
おかしくないわ…





すでに日本では  
敵機による爆撃が  
始まっている。

一刻の猶予も  
あつてはならない。

航空決戦が  
日本の運命を  
左右するのは  
明白だ。

僕は兵隊に  
なりたいたんじや  
ない。

航空兵に  
なることは、  
日本を護るための  
手段にしか  
過ぎないんだよ。

数ならぬ命なれども おほろかに  
思いはすまじ 国護る身なり

取るにたりないような  
自分の命かもしれないけれども、  
国を護る日本男児として、  
いいかげんな思いでいられるはずもない。

昭和18年9月 六澤さんの歌

この人は、  
日本男児  
だったんだわ…





穴澤さんは中央大学を  
繰り上げ卒業し、  
徴兵前に自ら志願して  
特別操縦見習士官一期生  
として陸軍に入隊した。



訓練に追われる中、  
直接会える機会が  
ほとんど  
なかった二人は、



互いの想いを、  
手紙に託した。

僕が唯一最愛の女性として選んだ人  
があなたでなかったら、こんなにも  
安らかな気持ちでゆくことは  
出来ないでしょう。

昭和18年9月 穴澤さんの手紙

あなたの為になら、  
火にも水にもと思う私があることを、  
なにとぞおそれず想い起こして  
下さいませ。

昭和19年11月 智恵子さんの手紙



智恵子…

いつ  
別れがくるとも  
分からない戦時下、



便箋に綴られた  
言葉を通して  
二人は強く  
結ばれていき、

利夫さん、  
ご無事だったのね！



やがて結婚を  
望むようになる。  
しかし…

孫田家

駄目だ。

でも、  
お父様…

利夫さんは  
とても立派な  
御仁です。

お前の選ぶ男だ。  
そうだろう。

ならぬ！

でしたら…



死ぬ覚悟…

結婚は、  
ならぬ。

軍人は、  
死ぬる覚悟を  
した人間だ。



智恵子。

娘が  
若い身空で  
未亡人になる  
姿なんて、

父も母も、  
見たくは  
ないのですよ。

…

穴澤家—  
穴澤さんの兄

反対だ！

都会の  
娘なんか

福島育ちの  
お前の手に  
負えるわけがない。

大体お前、  
軍人だろう？

彼女の人生に  
責任が持てるのか？！

死の身近にいる  
穴澤さんとの結婚を

互いの家族は  
反対していた。

それでも二人は  
結婚を望み――

あなたとともにあることが、

私にとって最上の幸いであることを

改めて、しみじみ感じています…

そして、私自身の気持ちを、

見えないもので伝えてくれる神。

それらを私は今、

静かに信じていたいと思います。

昭和20年2月26日 穴澤さんの手紙



自分の命を  
犠牲にして  
敵艦に飛び込んで  
行くなんて、

普通の人間に  
出来ることでは  
ないわ。





「自分は心から、  
智恵子よ 強く  
そして明るく生きよ」  
と祈り続ける。  
いつまでも、いつまでも、  
自分はあるあなたの生きゆく  
正しい姿を見守ってゆく。

欲を断ち、  
大義に身を捧げる。

そんな人に  
なりたいたいと  
思っていたけれど

利夫さんはまさに  
理想の姿なのかも  
しれないー

彼が  
願うことなら、  
何でも  
してあげたい……!

ますます二人の  
心の結びつきは  
強くなっていった。

そして  
1945年3月9日—

郷里の両親の  
許しを得ることが  
できました。

智恵子さんと  
結婚させていただきます。

ついに二人の  
婚約が許された。



2週間後の  
3月25日あたりには、  
結婚式も  
挙げられるでしょう。

改めて、  
目黒の叔父が  
こちらに伺います。



ようやく  
二人の願いが  
叶うはずだった。

しかし、  
婚約が決まった  
翌日の3月10日、

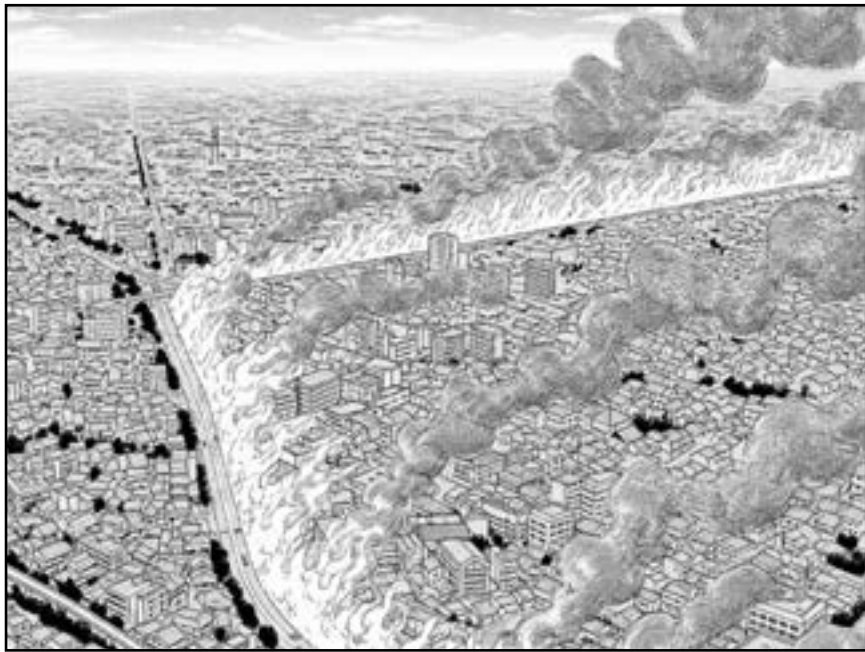
東京の空が、  
真っ赤に染められた。

# 東京大空襲

民間人に対して行われた、  
アメリカ軍による軍事攻撃。  
約10万人が亡くなり、  
100万人の被災者を出した。  
もちろんこれは、  
国際法違反である。



米軍は  
東京大空襲に向け、  
アメリカの訓練基地に  
日本家屋を立て、  
何度も実験を  
繰り返していた。




また、日本人を  
効率よく  
“焼き殺す”ために、  
街を囲うように  
焼夷弾を落とし、  
「火の壁」を作って、  
人々が逃げられない  
ようにした。



米軍のたゆまぬ  
“努力”の結果、  
下町一帯はたちまち  
火の海と化し、  
10万人もの人々が  
無残に焼き殺された。  
**まさに「虐殺」だ。**


石川光陽 (1904-1989) が撮影。  
1953年8月15日発行「東京大空襲秘録写真集」



東京が焼き  
尽くされたその日、  
目黒の親戚の  
家にいた穴澤さんは、

智恵子…

智恵子さんの  
身を案じ、  
空襲下の街に  
飛び出した。



智恵子さんもまた  
火の手が迫る中、  
穴澤さんの身を  
案じていた。

利夫さん…



人々が逃げ惑う  
混乱の中、

二人は偶然にも  
目黒の大鳥神社で  
再会する。

利夫さん…

よお…

駅まで  
歩きましょう。

互いの無事を  
確認した後、  
二人は駅へと  
向かった。

結婚の申込をするため  
特別休暇を貰っていた  
穴澤さんは、

飛行場に帰らねば  
ならなかったのだ。





しかし空襲後の混雑。  
ようやく電車に  
乗り込んだものの、



利夫さん！

池袋駅で智恵子さんは  
電車から押し出されて  
しまった。



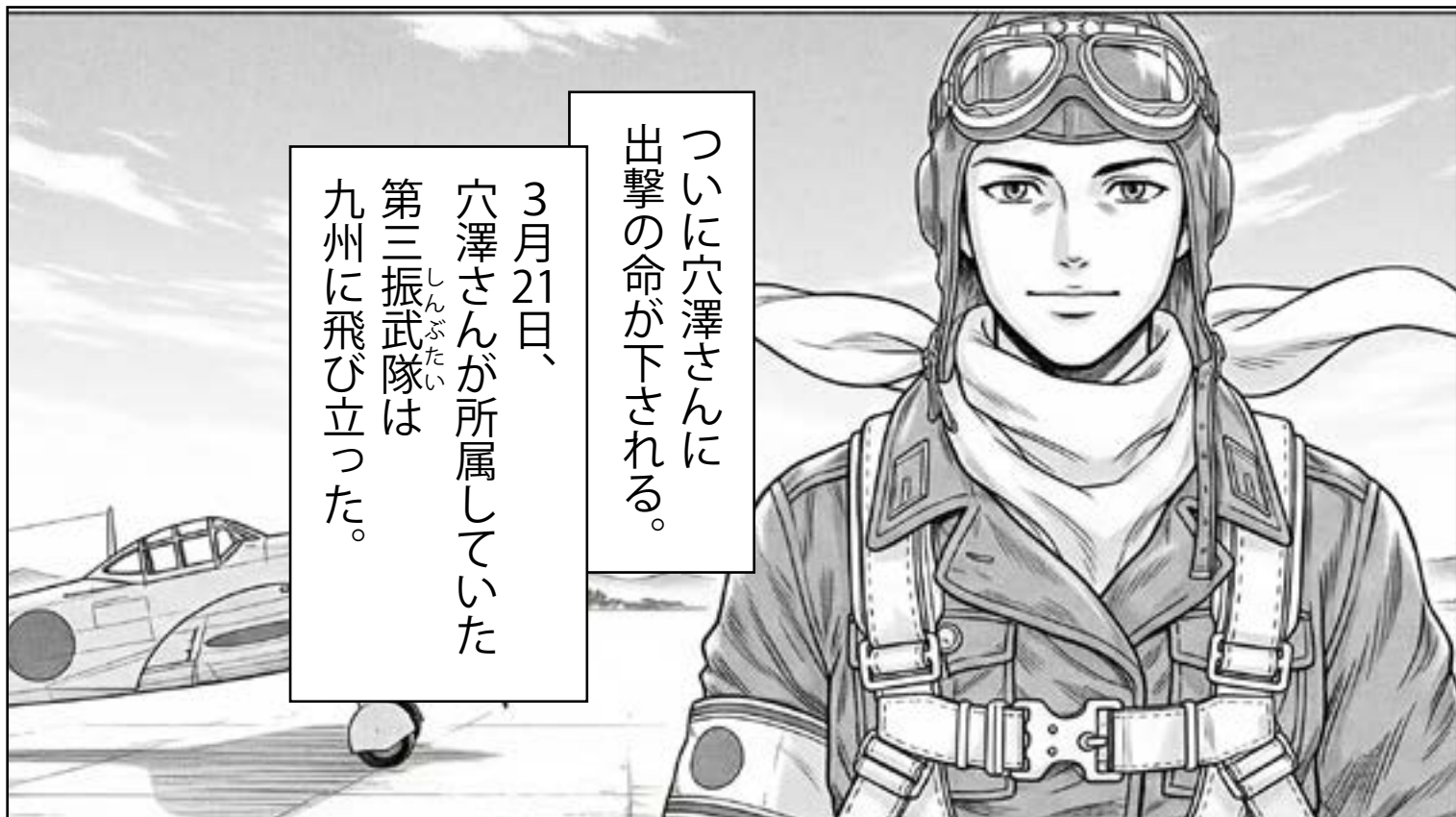
智恵子！

東京は危ないぞ！  
一日も早く  
身ひとつで来いよ！

ようやく  
婚約をした二人。

ほんの  
少しの別れだと  
思っていた。  
しかし――





ついに穴澤さんに  
出撃の命が下される。

3月21日、  
穴澤さんが所属していた  
第三振武隊<sup>しんぶたい</sup>は  
九州に飛び立った。



私が様子を  
見てきます。

宮崎の都城市<sup>みやこのじょう</sup>へ  
向かった。



知らせを受けた  
智恵子さんは、  
居ても立っても  
いられず、



飛行場の場所は  
機密事項だったため、  
どこに行けば  
分からなかったが

ほんの  
わずかな間でも、  
妻として利夫さんを  
送り出したい――


●夫への純粹な愛が、  
智恵子さんを  
飛行場へ走らせた。



しかし智恵子さんが  
ようやく飛行場に  
辿り着いた頃、


第三振武隊は  
徳之島に  
前進しました。

すでに穴澤さんは、  
沖縄近くの徳之島へ  
前進した後だった。



間に合わなかった…

どこへ追いかけても、  
もう、利夫さんには  
会えないんだ…

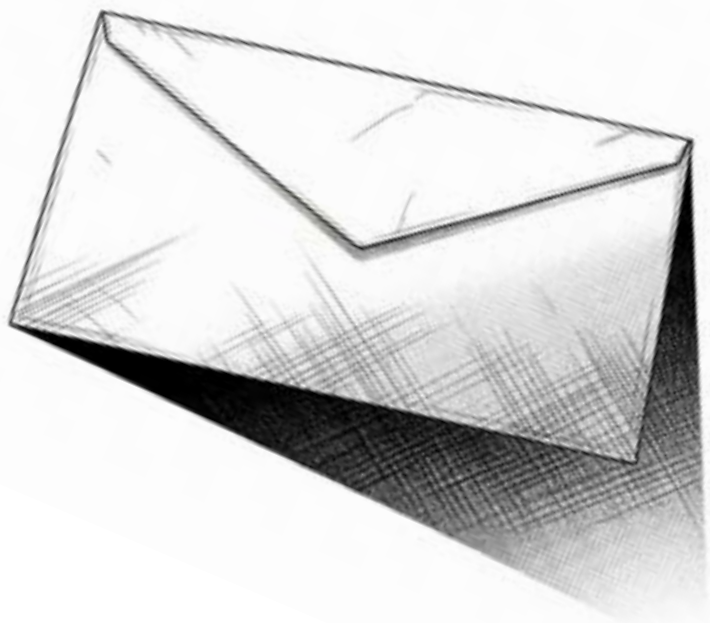


穴澤さんからの  
手紙も途絶えた—

結局、空襲後の  
池袋駅での別れが  
二人の最期の  
別れとなった。

それから一カ月後――

智恵子さんの元に  
一通の手紙が届いた。



穴澤さんからの、  
最後の手紙だ。



理知的で  
情感豊かな  
文章の中に、

智恵子さんへの  
純粋な愛情が  
吐露された手紙は、

「世界一美しい  
ラブレター」  
とも評される。

穴澤利夫少尉  
若干23歳、  
死を目前にした  
益荒男ますらおの「遺書」  
をここに紹介する。



二人で力を合わせて

努めて来たが、

終に実を

結ばずに終わった。

今、晴れの出撃の日を

迎えたのである。

今は、いたずらに過去における

長い交際のあとをたどりたくない。

問題は今後にあるのだから。



しかし、それとは別個に、

婚約をしてあつた男子として、

散つて行く男子として、

女性であるあなたに

少し言つて征ゆきたい。

ねが

「あなたの幸を希ねがう以外なにもない」



「勇気を持って、過去を忘れ、

将来に新活面を見出すこと」

「あなたは、

今後のいつときいつとき一時々々の

現実の中に生きるのだ。

穴澤は現実の中には、

もう存在しない」



極めて抽象的に流れた

かも知れぬが、

将来生起する具体的な

場面ばめんばめん々に

活かしてくれる様、

自分勝手な、

一方的な言葉ではない

つもりである。

智恵子…



今更、何を言うか、

自分でも考えるが、

ちよつぴり

よく  
慾を言つてみたい。

1 読みたい本

万葉、句集、道程、

一点鐘、故郷

2 観たい画

ラアフエル「聖母子像」、

芳崖「悲母観音」



3 智恵子、会ひたい、

話したい、無性に。

今後は明るく朗らかに。

自分も負けずに

朗らかに笑って征く。

昭和20年4月12日

智恵子様



穴澤利夫

陸軍特別攻撃隊第20振武隊

昭和20年4月12日

沖縄周辺洋上にて戦死 23歳

穴澤さんの特攻の日と  
手紙の日付は同じだから、  
この手紙は死の直前に  
書かれたものである。



替われるものなら、  
いつも離れない、  
あなたのマフラーになりたい――

昭和19年11月23日


穴澤さんに宛てた智恵子さんの手紙

実は智恵子さんは、  
結婚が許される前

プロポーズを考えて  
穴澤さんに  
会いに行っている。


何気なく巻かれ、  
いつも離れない  
あなたのマフラーに  
なれたら…





智恵子さんの心情を察した穴澤さんは、

ちょっとそのマフラーを貸して。



智恵子さんが巻いていたマフラーを手に取り、自分の首に巻いた。

穴澤さんなりの、プロポーズへの返答だった。

出撃前の穴澤さん



この「婚約のマフラー」を、穴澤さんはとても大切に、四六時中、身につけていた。

写真の一番手前の侍は、出撃前の穴澤氏だが、一人だけ首に何か巻いている。

智恵子さんのマフラーだ。

出撃のその日も、穴澤さんは智恵子さんと一緒だった。





そして、  
智恵子さんに  
約束した通り、

明るく朗らかに、  
笑って飛び立った。

穴澤さんは  
出撃の1ヶ月前、  
こんな歌を詠んでいる。

わが生命に

つらなるいのち

ありと念えば

いよよまさりて

かなしさ極む

自分の命が、未来の命に  
つながるのだと思えば、  
どうしようもなく、  
愛しい心でいっぱいになる。

「かなしさ」

という言葉には、

「悲しい」という意味と

「愛しい」という

意味がある。

愛する人を  
残さねばならない  
「悲しさ」も  
あっただろう。  
叶えたい夢もあった。

しかし、

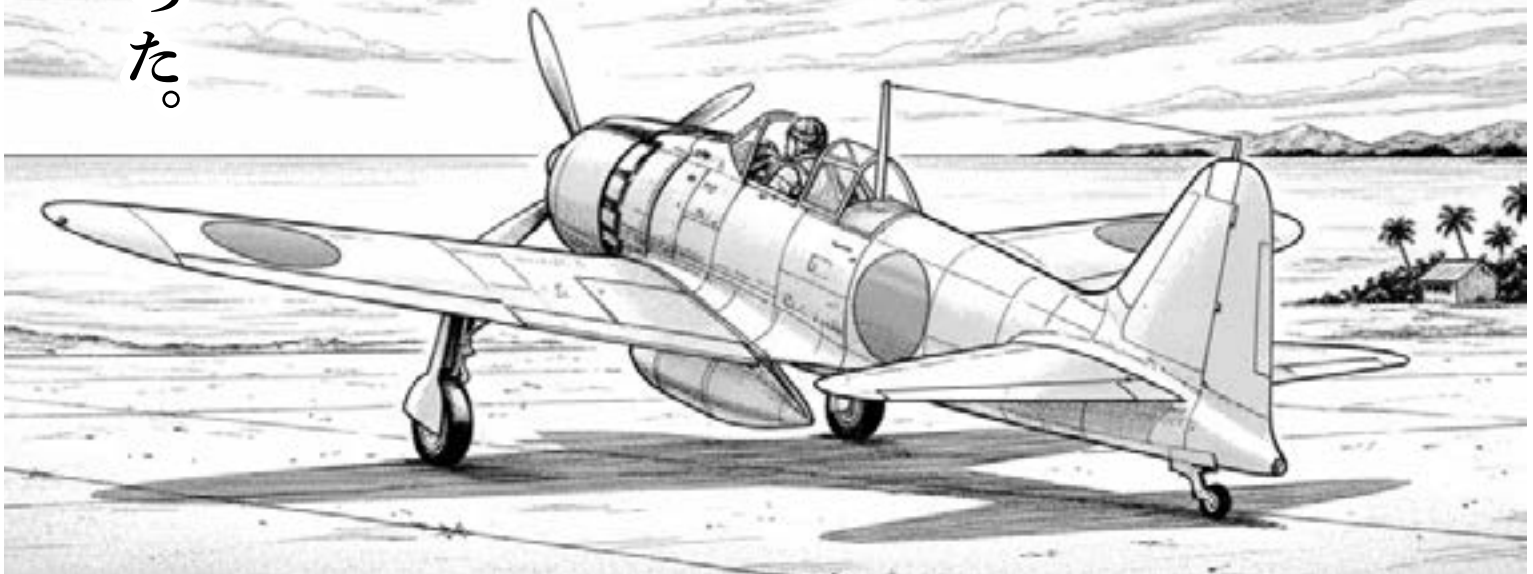
未来を生きる

わたしたちの命を

「愛しい」と思って

穴澤さんは

命を捧げてくださった。



「悲しさ」よりも  
「愛しさ」が  
勝っていたからこそ、

死を目前にして  
笑顔でいられた  
のだろう。

## 出撃する穴澤さん

この時穴澤さんを見送った永崎笙子さんは、穴澤さんはにっこり笑って何回も敬礼した、と日記に綴っている。



「毎日グラフ」1965年11月25日臨時増刊号～続日本の戦歴～  
知覧飛行場、昭和三十年四月十三日知覧飛行場、昭和三十年四月十三日

侍は、切腹で以って  
死の恐怖を超越する  
ことを「誉れ」とする。

死に際して動じず  
他者のために戦う。  
それが真の侍である。



# 「特攻隊」

という

言葉を聞くと、

暴力的に

とらえてしまい、

已むに已まれず

特攻を行った侍を、



まるで「狂人」か

何かのように

考えてしまう人も

いるかもしれない。



しかし自分を

かなぐり捨てて戦う

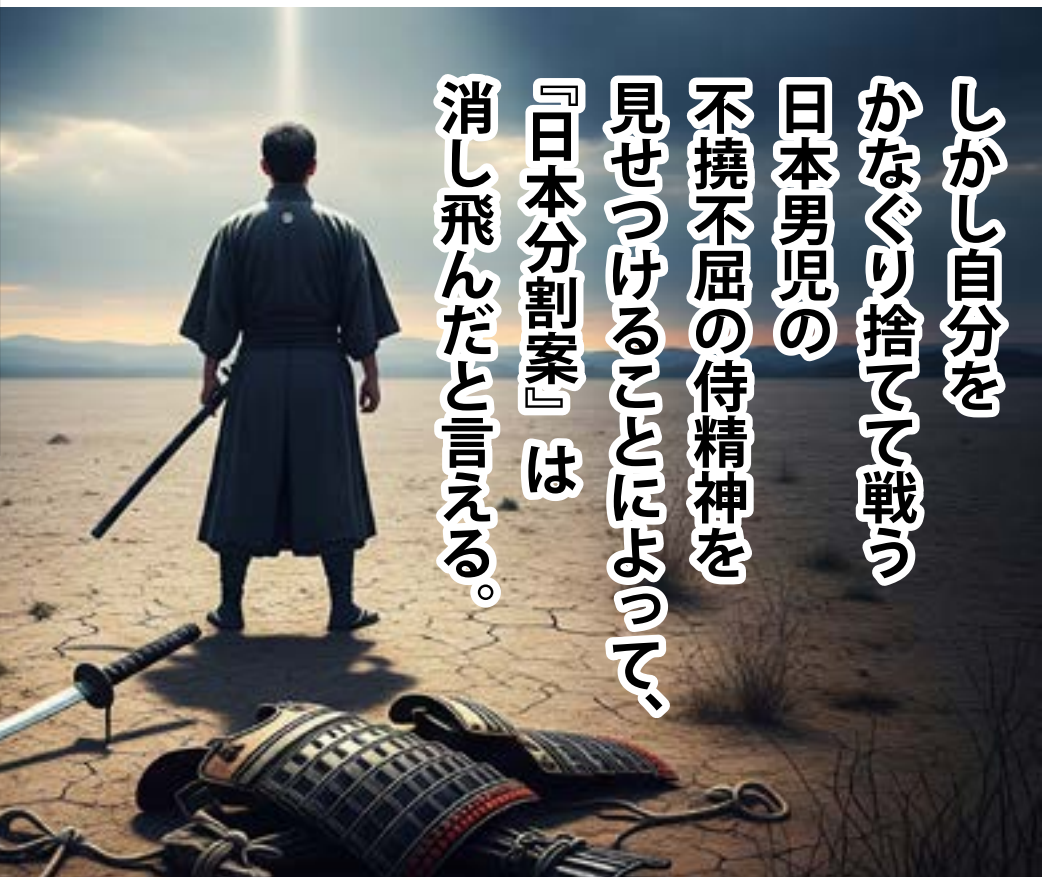
日本男児の

不撓不屈の侍精神を

見せつけることによって、

『日本分割案』は

消し飛んだと言える。



ソ連統治

アメリカ統治

イギリス統治

中国統治



多くの方々が  
体を張り、命を懸け、  
そしてオレたちは、  
今を生きている。



これが泣かずに  
おれようか……。

相花信夫少尉は4歳の時に  
病気で母親を亡くした。



父親は

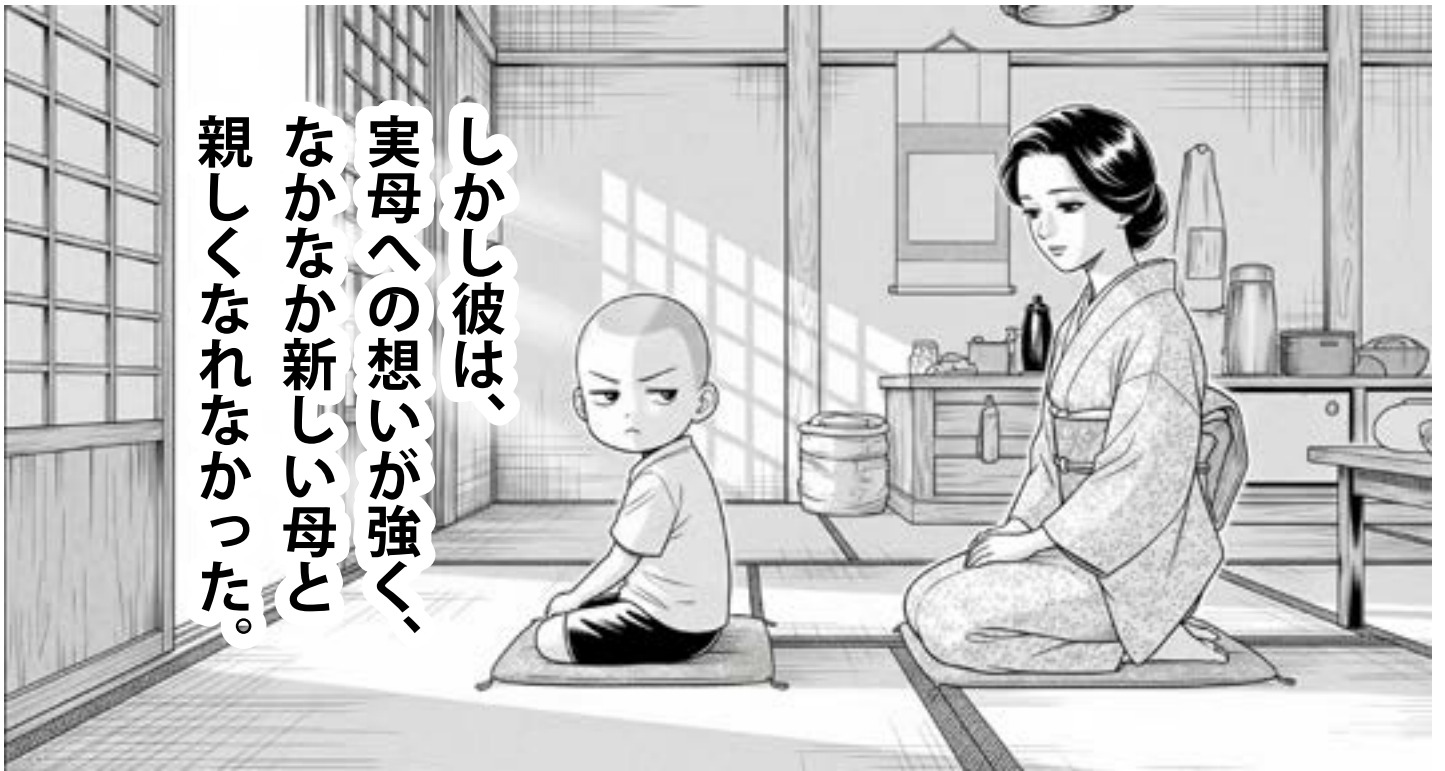
「子育てが大変だ」  
ということだ、

相花少尉が

6歳の時に

再婚するも、





しかし彼は、  
実母への想いが強く、  
なかなか新しい母と  
親しくなれなかった。



だが彼は出撃する前日に、  
継母に向けて手紙を書いた。

読ませて頂く。

母を慕いて

母上お元気ですか



永い間本当に有難うございました

我、六歳の時より育て下されし母

継母とは言え

世の此の種の女にある如き

不祥事は一度たりとてなく

慈しみ育て下されし母

有り難い母 尊い母



俺は幸福だった

遂に最後迄

「お母さん」と呼ばざりし俺

幾度か思い切って呼ばんとしたが

何と意志薄弱な俺だったろう



母上お許し下さい

さぞ淋しかったでしょう

今こそ大声で呼ばして頂きます



お母さん  
お母さん  
お母さんと




陸軍特攻第七十七振武隊  
昭和20年5月4日  
沖繩にて戦死  
宮城県出身 20歳



先の大戦まで  
確かに待がいた。

責任転嫁する  
つもりはない。

だが私たちも  
武士道が解体されず、  
武士道を歩めていれば、  
あそこまで  
喧嘩という暴力に、  
価値を見いだす  
ことは  
なかっただろう。



では、  
日本人にとって、  
武士道とは  
果たして何なのか？



彼は外国の教授から  
こう言われた。



明治から  
昭和にかけて  
活躍された人物に  
新渡戸稲造という  
方がいる。

それでは貴方の国には  
宗教教育はないと  
そうおっしゃるのですか？



はい、ありません。



日本人は  
何を基準に  
物事の善悪を  
学んでいるのですか？



宗教教育無しで  
どうして人々に  
道徳を授けることが  
できるのですか？



この外国の教授の  
言葉の意味が、  
現代の日本人には、  
なかなか理解し  
難いかもしれない。

たとえば1920年の  
インドにおいて、

アマラとカマラという  
2人の少女が見つかった。



彼女たちは

オオカミに拾われて

育てられたために、

5、6歳で人間に

発見された時、

話すことも、

二足歩行もできず、


暗闇でも四足で走り、



遠吠えをし、


共に幼いうちに亡くなっ

てしまった。




この悲しき少女たちの話が  
果たして何を意味するか  
と云えば、

「人間は狼の教育を受ければ、  
狼のように成ってしまう  
可能性があり、  
人間には  
人間としての教育が  
必要である」ということだ。



しかし国語は言葉の教育であり、  
算数や数学は数の教育であり、



科学の本には、  
核兵器の作り方は  
書かれていても、  
それらを使いこなす善悪、  
人間としての  
正しい生き様については、  
何も説かれていない。



そして外国では

キリスト教、

イスラム教、



ユダヤ教


といった宗教が、

人間に善悪を教えて、



人々に道徳を

与えてきたのである。



私たち日本人は  
どのようにして道徳を得て、  
何に基づいて  
物事の善悪を学んでいるのか？

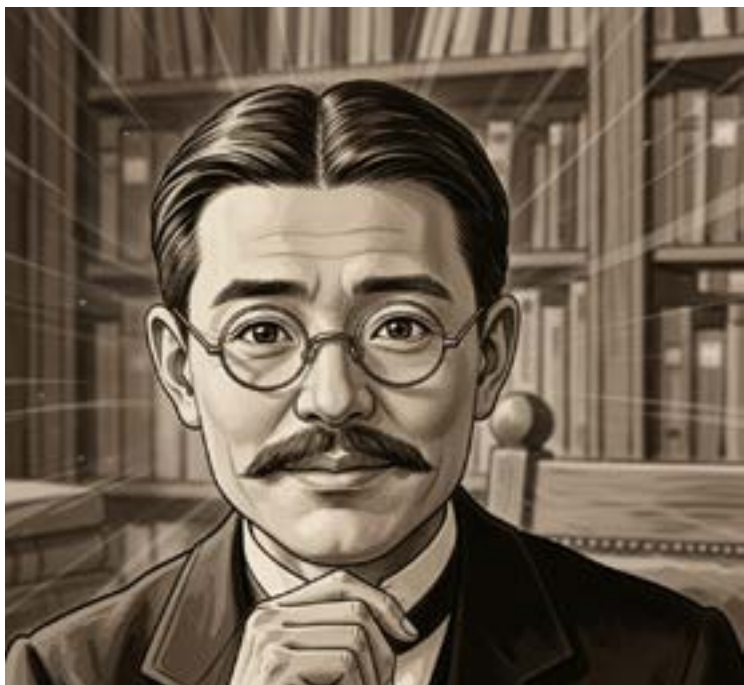
日本人を人間たらしめている  
教育とは果たして何なのか？

苦悶を続けた彼はやがて

「日本人には

武士道教育がある」

ということに気が付いた。



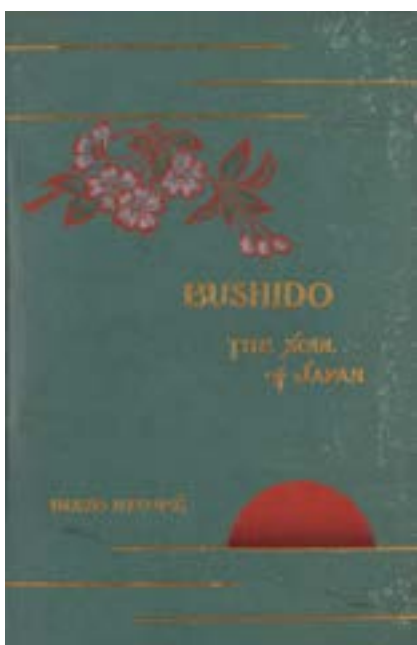
こうして新渡戸稲造は、

日本人を外国の方々に

理解してもらおうと

『Bushido: The Soul of Japan』

を世に著した。



大学どころか、  
鑑別所しか出てない  
私が言うのも何だが、  
日本の教育の源流は、  
武士道に他ならず、  
それは  
太古の昔から  
存在していた。



縄文の昔から

日本人に善悪を教え、

道徳倫理を授け、

日本人を狼ではなく

人間にしてきたもの、

それは「武士道」であり、

それほどまでに、

日本人と武士道は

深い関係にある。



武士道  
を知らないオレたちは、  
ただのバカな狼だった。





では、武士道を歩んだ侍とは、

果たしていかなる「生き様」をしていたのか。



江戸時代にも殺し合いの喧嘩をするヤクザはいた。

渡世の世界で有名なのは「東海道一の親分」と言われた



清水の次郎長である。



清水市の発展に力を注いだからだ。

堅気となり、明治維新にも貢献し、

晩年の清水の次郎長がヤクザをやめて

しかし



静岡清水市において、

今も次郎長親分が親しまれているのは、



清水の次郎長が  
ヤクザをやめて  
堅気になるにあたり、



深い影響を  
与えていたのが、



山岡鉄舟という  
侍にして  
思想家であった。



清水の次郎長親分は、  
自分よりも  
十七歳も年下の  
山岡鉄舟に対して  
こう述べた。

「オレの親分は  
山岡鉄舟だ」



江戸時代において  
倒幕側の西郷隆盛と  
幕府側の勝海舟の間で、  
話し合いが行われ、  
「江戸城の無血開城」  
が行われたわけだが、



この  
「江戸城無血開城」の  
陰の立役者こそ、



清水の次郎長親分が  
「オレの親分」と呼んだ  
山岡鉄舟である。

もしこの時に  
「無血開城」が  
行われなければ、  
大きな内戦となって、  
江戸は火の海と化し、  
多くの江戸の人々が  
戦火に巻き込まれ、  
命を落としていた  
と言われている。



なぜなら

幕府に仕える

山岡鉄舟が、

清水の次郎長の

手引きで、

死を覚悟して、

大群を率いる

西郷隆盛のもとに行き、

勝海舟との話し合いを

実現させたからこそ、

「江戸城無血開城」が

成立したからである。





進軍してくる  
敵勢力の中に、  
飛び込んでいくことは、  
死を覚悟した  
勇気と胆力が  
なければできない。

西郷隆盛は  
山岡鉄舟に対してこう  
述べた。



「命もいらず名もいらず、  
官位も金もいらず人は、  
始末に困るものなり。  
この始末に困る人ならでは、  
艱難を共にして、  
国家の大業は  
成し得られぬなり。」

# 始末の困る人



それはお金とか、

地位とか、

名誉とか、

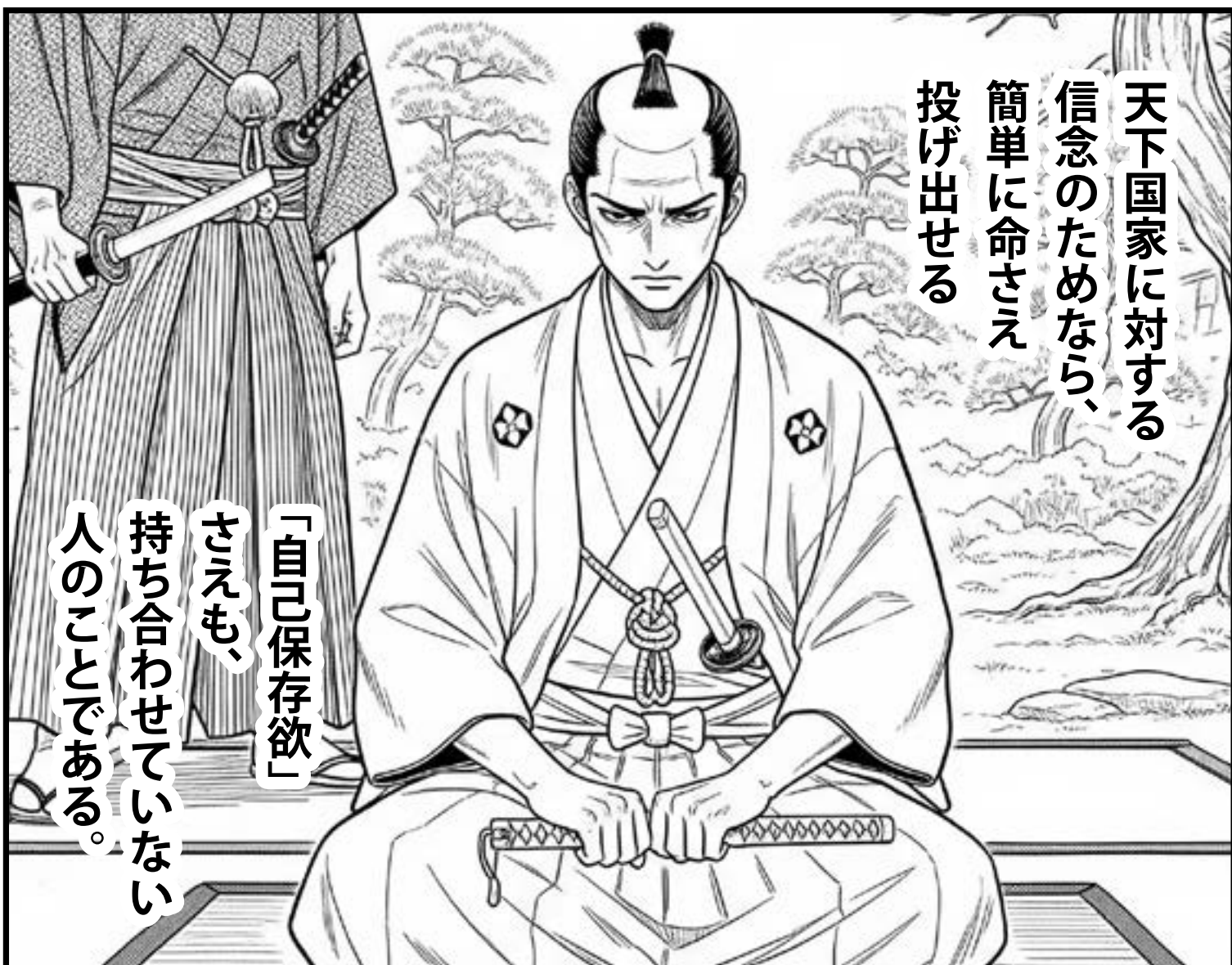
そんな「自己実現」

など見向きもせず、

「自己保身」

さえ少しも考えない、

そればかりか、



天下国家に対する

信念のためなら、

簡単に命さえ

投げ出せる

「自己保存欲」

さえも、

持ち合わせていない

人のことである。

実際に

西郷隆盛と共に、

「倒幕」という

同じ志を持った

坂本龍馬は



追われる身となり、

金銭もろくに

無くなって、

西郷隆盛の嫁に

「使い古しでいいから

禊ふんどしをくれないか」

と頼んだことがある。

「彼は国家のために  
天下を奔走している  
人であるから  
新しいのを買って  
差し上げなさい。」





侍、  
それは  
天下国家のために、  
「貧困」も、  
「死」をも  
恐れない者の  
ことである。

日本人は強すぎた。  
だから先の敗戦の後、  
武士道は解体された。

悪魔どもの高笑いが  
聞こえてきそうだ。

ぎやははははは



# 与国秀行 最新刊

## Amazon で販売中!



電子書籍 1.500 円



文庫本 880 円

その他にも オーディオブック  
『武士道を行く』 →



←与国秀行作詞『BUSHIDO42』  
「MONONOFU」、「甦れ大和魂よ」他全21曲